

平成 23 年北秋田市議会 9 月定例会行政報告

北秋田市議会 9 月定例会が開催されるにあたり、6 月 17 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

〈総務課関係〉

被災地への職員派遣については、既に震災被災地に延べ 50 人を派遣しているところですが、能代市から協力要請があり、災害援護資金等の業務支援として岩手県大船渡市へ 7 月から 12 月までの間に職員延べ 5、6 人を派遣することとなりました。第 1 陣は 7 月 29 日出発し 8 月 5 日帰任し、9 月 2 日には第 2 陣が出発しています。また、7 月末の豪雨により甚大な被害を受けた新潟県三条市から水害サミットの縁で職員の派遣要請があり、被災住宅調査のため 8 月 3 日から 8 月 8 日まで職員 2 人を派遣しています。

夏休みを利用した福島県からの被災児童・生徒の一時避難については、市内 8 か所の宿泊施設におよそ 200 人を受け入れました。滞在中は無料開放された観光施設や小学校のプールの利用、北欧の杜公園、火まつり見学など楽しみました。

8 月 17 日の豪雨発生により、災害警戒部を立ち上げ、対応に当たりました。8 月 23 日現在確認された住家の被害は床上浸水 8 棟、床下浸水 37 棟、非住家 4 棟となっており、農作物は水稻を中心に 94.2ha が冠水、倒伏などの被害が発生しています。また、農地・農業用施設、林道、市道、水路等被害については調査中ですが、早期の復旧に努めてまいります。

平成 23 年度職員採用試験については、8 月 3 日から 24 日まで受験申込みを受付し、上級一般事務 25 人、初級一般事務 15 人、初級消防吏員 16 人の応募がありました。第 1 次試験は、9 月 18 日ノースアジア大学において実施されます。

<総合政策課関係>

平成 23 年度の移動行政懇話会は、8 月 25 日～30 日の日程で阿仁、森吉、合川、鷹巣の順に開催しました。市からは「北秋田市の防災について」と「災害時要援護者避難支援制度」について説明し、協力をお願いしております。

<内陸線再生支援室関係>

秋田内陸線に関する地域懇談会が6月 29 日から7月 11 日にかけて市内4か所で開催されました。懇談会は会社側から内陸線の現状や 23 年度の取組、利活用のお願い、活性化本部からはマイルールキャンペーンや駅ターミナルパワーアップ事業の説明と協力依頼、参加者からは内陸線に対する要望や意見などが出されました。懇談会は仙北市でも2会場で実施されました。

秋田内陸地域公共交通連携協議会主催の第5回秋田内陸線グラウンド・ゴルフ大会が8月 30 日、大野台ハイランドを会場に開催されました。この大会は内陸線の利用促進と沿線の交流を深めることを狙いとしていて、仙北市や大仙市、北秋田市、大館市などの愛好家約 170 人が参加しました。

財 務 部

<財政課関係>

平成 23 年 5 月 28 日から 8 月 15 日までの工事等発注状況（500 万円以上）は、次のとおりとなっております。

工事等発注一覧表 ※ 500 万円以上(消費税含む)			
平成23年5月28日～平成23年8月15日			
工事名（業務名）	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
平成 2 3 年度固定資産路線価鑑定評価業務委託	H23. 6. 27	5, 040	高井不動産鑑定事務所
内部情報系システム更新機器	H23. 7. 21	15, 991	(株) アイシーエス秋田支店
住民情報系システムデータ抽出業務委託	H23. 7. 21	31, 500	日本電気 (株) 秋田支店

本庁舎ネットワーク再構築工事	H23. 8. 15	5, 618	日本電気（株）秋田支店
財務部 4件		58, 149	
一般廃棄物最終処分場改修工事	H23. 6. 29	35, 700	朝日建設（株）
阿仁山村開発センター屋上改修工事	H23. 6. 29	9, 345	（有）森川防水工業
市民生活部 2件		45, 045	
大町団地解体工事	H23. 6. 27	6, 121	（株）吉田工務店
北部2号幹線工事（鷹巣処理区その4）	H23. 6. 28	72, 124	（有）丸栄建設
北部2号幹線工事（鷹巣処理区その3）	H23. 6. 29	27, 636	朝日建設（株）
一般国道7号鷹巣大館道路工事に伴う水道施設移設 実施設計業務委託	H23. 7. 21	6, 300	新日本設計（株）東北支社秋 田事務所北秋田営業所
水道料金システムサーバー他関連機器	H23. 8. 3	5, 176	秋田ゼロックス（株）
道路改良工事（市道 大野台幹線）1工区	H23. 8. 4	18, 891	（株）伊勢組
道路改良工事（市道 大野台幹線）2工区	H23. 8. 4	17, 728	（有）宗和
道路改良工事（市道 大野台幹線）3工区	H23. 8. 4	59, 745	（株）佐藤庫組
面整備工事（鷹巣処理区その1）	H23. 8. 5	6, 352	かつら造園建設（株）
建設部 9件		220, 073	
北秋田市中心市街地活性化ビジョン策定事業業務委託	H23. 6. 9	5, 775	（株）ウヌマ地域総研北秋 田支社
大館能代空港便利用促進事業	H23. 6. 30	10, 500	大館能代空港利用促進北秋 田市協議会
北秋田市企業誘致活動支援事業業務委託	H23. 7. 1	6, 331	（社）北秋田地域シルバー 人材センター
集落基盤整備事業（合川地区）第01601号工事	H23. 7. 21	8, 872	（株）佐藤庫組
北秋田市商店街観光マップ作成運用事業	H23. 7. 25	17, 637	東光コンピュータ・サービ ス（株）北秋田営業所
集落基盤整備事業（合川地区）第01602号工事	H23. 8. 4	17, 104	（株）伊勢組

産業部 6件		66,219	
図書館システム導入委託事業【蔵書データ化委託】	H23. 6. 6	15,993	(株)図書館流通センター
阿仁中旧体育館解体工事	H23. 7. 7	13,597	朝日建設(株)
沢口公民館屋根改修工事	H23. 7. 7	6,402	(株)ファイナルーフ
森吉中校舎屋根改修工事	H23. 7. 8	35,175	秋田土建(株)
鷹巣南中校舎屋根塗装工事	H23. 7. 21	7,224	鈴木塗装店
鷹巣小校舎屋根塗装工事	H23. 7. 21	16,222	九島塗装
教育委員会 6件		94,613	
消防本部庁舎耐震補強工事	H23. 7. 21	7,839	(有)小坂工務店
災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車	H23. 7. 27	57,435	(株)能代消防センター
消防本部 2件		65,274	
北秋田市農地地図情報システムデータベース作成委託業務	H23. 7. 21	13,902	東光コンピュータ・サービス(株)北秋田営業所
農業委員会 1件		13,902	
合計 30件		563,275	

<税務課関係>

平成 23 年 7 月 1 日現在における市県民税と国民健康保険税の賦課状況については、下記のとおりとなっております。

1. 平成 23 年度市県民税

区 分	調定額及び納税義務者数		
	23 年度現年課税分	22 年度現年課税分	前 年 比
納税義務者数	15,175 人	15,533 人	△358 人
市 民 税	910,231,700 円	929,868,600 円	97.89%
県 民 税	579,598,200 円	616,605,500 円	94.00%
合 計	1,489,829,900 円	1,546,474,100 円	96.34%

2. 平成 23 年度国民健康保険税

区 分	調定額及び世帯数・被保険者数		
	23 年度現年課税分	22 年度現年課税分	前 年 比
世 帯 数	6,332 世帯	6,295 世帯	37 世帯
被 保 険 者 数	10,237 人	10,242 人	△5 人
一 般 医 療 分	412,073,747 円	437,540,449 円	94.18%
一 般 支 援 分	70,113,625 円	74,828,606 円	93.70%
一 般 介 護 分	47,815,148 円	50,268,905 円	95.12%
退 職 医 療 分	50,241,353 円	46,776,451 円	107.41%
退 職 支 援 分	8,499,775 円	7,967,694 円	106.68%
退 職 介 護 分	13,192,352 円	12,459,595 円	105.88%
合 計	601,936,000 円	629,841,700 円	95.57%

市民生活部

〈生活課関係〉

7月7日、市道「大野岱線」周辺で住民ボランティア、北秋田振興局、北秋田警察署、市役所、産業廃棄物協会等で構成された「美しいふるさと北秋田クリーンアップキャラバン隊」で不法投棄廃棄物（不燃ごみ80kg、廃家電65台、廃タイヤ29本）を回収し、北秋田市内の環境美化に努めました。

福島第1原発事故による放射能汚染問題については、秋田県が公表している県内市町村の空間放射線量の調査結果（8月9日）によると北秋田市内（北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部庁舎前）の放射線量の値（0.04マイクロシーベルト毎時）は通常のレベルという結果が出ております。

本市においても、市民の安全安心のため、空間放射線量の測定器を購入すべく、今回の補正予算に費用を計上しております。

「子どもと高齢者の事故防止」を運動の重点として、夏の交通安全運動を8月1日から8月10日まで実施しました。

期間の初日には、北秋田警察署、交通安全協会、交通安全母の会など約100名が参加し、道の駅「たかのす」付近の国道7号において、通行車両の運転手に啓発品を手渡し、安全運転を呼びかけました。

日常使用する家電製品による事故を未然に防止し、消費者の安全を守るため、7月27日、安全3法（家庭用品品質表示法、消費生活用製品安全法、電気用品安全法）に基づき市内3店舗を立ち入り検査しました。テーブルタップなど8品目を検査した結果、検査対象品目についてはすべて適正に販売されております。

市民提案型まちづくり事業については、一次募集に応募があった2団体を審査した結果、いずれも採択され事業実施中であり、現在二次募集を行っております。

クリーンリサイクルセンターへの4月から7月末までのごみ搬入量の実績は、約4,180トンで、前年同期と比べ、104トンの減少となっております。

〈市民課関係〉

平成23年7月末現在の住民登録者数は、36,740人で、その内訳は男17,220人、女19,520人、世帯数は14,515世帯となっております。

一般旅券（パスポート）の交付件数は平成23年4月から7月末現在76件となっております。

国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療については、次のとおりとなっております。

1. 前期高齢者受給者証の交付状況

(8月1日現在)

区分	現役並所得者	一般	低所得者（非課税）		計
			低Ⅱ	低Ⅰ	
交付者数	44	1,130	895	184	2,253

2. 後期高齢者医療

1) 被保険者証の交付状況について

(8月1日現在)

交付者数	7,749	内障害認定者	230
------	-------	--------	-----

3. 福祉医療

1) 受給者証（通称：マル福）の交付状況について (8月1日現在)

法別	年齢	受給対象要件	人数
740	1歳～6歳	幼児で所得が基準内で、住民税非課税世帯の子	383
	0歳	幼児で所得が基準内世帯の子	
801	1歳～6歳	幼児で所得が基準内で、住民税課税世帯の子	626
802	0歳～6歳	幼児で所得が基準超過世帯の子	191
75	0歳～18歳	母子家庭の子	362
76	0歳～18歳	父子家庭の子	84
72	65歳～74歳	身体障害者手帳4～6級所持者	149
73	0歳～64歳	身体障害者手帳1～3級又は療育手帳A級所持者	622
77	75歳以上	身体障害者手帳4～6級所持者	452
78	65歳以上	身体障害者手帳1～3級又は療育手帳A級所持者	1,041
計			3,910

※ 乳幼児については、法別で区分されているが受給者負担はない。（無料）

※ 年齢で6歳とは就学前まで、18歳とは高校卒業まで。

健康福祉部

〈福祉課関係〉

7月14日、第61回社会を明るくする運動の市民集会在開催され、28団体約300名の参加者が銀座通りをパレードし、文化会館では法務大臣からのメッセージ朗読等を通じて犯罪や非行の防止について啓発を行いました。

8月23日に北秋田市戦没者追悼式が文化会館で行われ、遺族や市の関係者など約240人が参列し、戦没者の御霊に献花を行いながら今日の平和で豊かな郷土の発展の礎となった戦没者を偲び、恒久平和の誓いを新たにしました。

各保育園では、7月、8月に恒例の「夏まつり」行事を保護者会の協力により行い、地域の皆さんの参加により園児と地域との交流が図られました。

虐待防止等総合支援地域協議会は6月29日に協議会を開催し、関係機関・団体及び学識経験者から26名を委員に委嘱して、関係機関が情報の共有と連携を図りながら、虐待やいじめの防止、早期発見及び早期対応に取り組むこととしました。

児童扶養手当等の現況届については、8月1日から12日まで対象者283名の現況面接審査を実施し、申請、更新の手続きを行いました。

北秋田市ハートフル倶楽部委員会については、7月1日に委員の委嘱を行い、今後も男女の出会いの場づくりにサポーターとして取り組んでいくことを確認しました。

障がい者計画及び第3期障がい福祉計画策定のため、7月11日に第1回策定委員会を開催し、関係機関及び一般公募者からの13名を委員に委嘱しました。障がい者施策の今後の方向を示す計画書策定に向け、意識調査アンケート等を実施しながら年度内の策定を目指してまいります。

<高齢福祉課関係>

地域包括支援センターでは国の地域支援事業の実施要綱の改正により、本年度から二次予防事業対象者把握事業を行っております。二次予防事業は、主として要介護状態となるおそれの高い状態にあると認められる65歳以上の方達を対象として、要介護状態となる事を予防し、活動的で生きがいのある人生を送っていただくための事業であります。

介護認定を受けておらない65歳以上の調査対象者10,157名（H23年3月末の65歳以上の人口13,190人の77%）に対してアンケート方式のチェックリストを配布したところ、7月31日現在、6,746名の方達から返信があり、回収率は66.4%となっております。なお、未提出世帯については、今後できるだけ個別訪問を行い実態の把握に努めてまいります

また、回答をいただいた中で、二次予防事業対象者（北秋田市では「健幸づくりシニア」と親しみのある名称で呼んでいる。）に該当する方は1,774人で、回収者の26%となっております。「健幸づくりシニア」の方々へは、電話や戸別訪問を行い、健康推進課で行っている各種介護予防事業への参加を勧めており、昨年度より事業参加者が増加しております。

<医療推進課関係>

北秋田市地域医療連携センター運営協議会については、7月25日、第1回目の協議会を開催いたしました。当協議会の目的は、今年4月に新設した「北秋田市地域医療連携センター」の円

滑な運営をサポートすることにあります。そのためには、医療機関・介護サービス事業所など関係団体の連携が不可欠であることから、医師・介護保険施設職員・居宅サービス事業所職員・居宅介護支援事業所職員等を委員にお願いし、今後の対応を協議いただくことにしております。今年度は、4回の開催を予定しております。

<診療所関係>

4月から7月までの3診療所の外来患者数については、次のとおりです。

阿仁診療所では、内科3,711人で前年同期対比321人(7.9%)の減、外科3,696人で前年同期対比121人(3.1%)の減、歯科1,437人で前年同期対比13人(0.8%)の減となっております。

次に、合川診療所では、5,666人で前年同期対比91人(1.6%)の減となっております。

また、今年4月に開所した米内沢診療所では、内科8,086人、小児科628人、整形外科1,874人、脳血管外科578人、心臓血管外科99人となっております。

今後も、地域住民の健康を守るとともに安定した経営のため努力を続けてまいります。

<健康推進課関係>

4月から始まった成人検診事業については、個別医療機関方式、国保ドック方式を除き8月10日で終了しました。

集団検診の受診状況は、特定健康診査2,133人、一般健康診査63人、後期高齢者1,134人となっております。各種がん検診等は、胃がん検診2,186人、大腸がん検診3,450人、胸部総合検診3,729人、喀痰検査89人、前立腺がん検診1,199人、肝炎ウイルス検診19人、子宮頸部がん・卵巣腫瘍検診617人、乳がん検診586人、骨そしょう症検診416人となっております。

また、特定健康診査の結果、動機づけ支援対象者は220人、積極的支援対象者は70人となっております。特定保健指導に入っております。

市民の健康づくり事業の一環であるウォーキングについては、2回目として阿仁地区の「マタギウォーク」が6月3日に開催され、135人(内、内陸線利用者100人)が参加、3回目の合川地区「杜のウォーク」は9月の開催を予定しております。

母子保健事業については、乳児と中学生のふれあいを目的として思春期ふれあい体験事業を7月26日と8月11日の2回実施し、合川中学校の3年生12人、森吉中学校の3年生3人が参加しました。

食育推進事業については、体験学習型の食育探健隊(幼児対象のキッズコース・小学校1年生対象のジュニアコース)を7回予定し、これまで4回の実施で81人の参加がありました。今後も関係機関と連携をとり、幼少期からのよりよい食習慣の定着を図ってまいります。

献血実施状況については、7月末現在で全血献血234人となっております。

産 業 部

〈農林課関係〉

今年の水稲は、田植え後の日照不足や低温が影響し、初期生育に遅れがあると見られていましたが、平年並に出穂し、順調に推移しているものの、斑点米カメムシ類の発生が多いことから、今後は病虫害防除と適切な水管理の指導を関係機関と一緒にやって行い、安全・安心で良質な北秋田産米の収穫に向け、取り組んでまいります。

きゅうり、トマトの青果物等については、出荷量は平年並ではあるものの、今夏の高気温の影響により、消費地の購買意欲が落ちていること等もあり、若干価格が下落傾向となっております。

畜産関係については、福島第1原発事故に伴う放射能汚染の影響が懸念されておりますが、県の放射性物質検査において牧草に異常値が検出されなかったことから、2つの市営牧場は例年どおりの放牧を行っております。しかしながら、8月にかけて県産牛から暫定基準値を超える放射性セシウムが検出されるなど問題の終息が見られないことから、今後も県と連携し、発生要因の究明や発生防止のための測定調査や飼養管理指導を継続して取り組んでまいります。また、8月上旬には管内で牛のヨーネ病感染が確認され、伝染病拡大防止のため感染牛の殺処分と当該牛舎等の消毒が実施されました。今後は、関係機関と連携し、まん延防止対策として同居牛の継続検査等を実施し、農場の早期の清浄化を図ってまいります。

6月23日から24日発生の豪雨被害については、農作物にあつては小阿仁川の氾濫及び阿仁川・米代川の増水により管内の10haあまりが冠水しましたが、冠水時間が短く被害が最小限に止まっております。農地・農業施設では、農地2件、農業施設2件の災害が発生しました。

本年度から本格実施されました農業者戸別所得補償制度については、8月5日に「北秋田市農業再生協議会」の設立総会を開催し、作物の生産振興や戸別所得補償制度の実施、担い手育成・確保、耕作放棄地の解消等の取組を一体的に進めていく体制を整えました。

森林の持つ意義や森林づくりの重要性・必要性、また林業に理解を深め森林の大切さを感じてもらうことを目的に「第4回東北チェーンソーアート競技大会」が7月9日から10日「北欧の杜公園」に於いて県主催の森林祭と同時開催され、県内外から17名の選手参加があり成功裡に終了しました。

6月23日から24日の豪雨による林道災害については、補助該当として2路線2箇所被害があり設計委託を発注済みであります。また、単独災害として2路線2箇所あり随時復旧しております。

有害駆除については、例年になく熊の出没により鷹巣地区3頭・森吉地区4頭・阿仁地区2頭・合川地区2頭、合計11頭（8月15日現在）を駆除し人的被害を未然に防いでおります。

これから冬眠するまでの間、北秋田振興局・北秋田警察署・猟友会との連絡を密にし、市民の安心・安全を図ってまいります。

〈商工観光課関係〉

企業誘致関係については、大野台工業団地のティディエス株式会社秋田工場の増設工事が7月31日に完成し、新規採用9名、パートから正社員に登用10名の計19人で8月1日から操業しております。

緊急雇用事業関係については、県の基金事業を活用し7月から企業誘致支援事業など8事業、44名の雇用で失業者対策に取り組んでいます。

中心市街地の賑わい創出を目的に、鷹巣駅前通りを中心に「軽トラ市」を7月9日、8月6日、9月10日（予定）に開催し、被災地復興支援の一環として、東松島市（宮城県）・洋野町（岩手県）の物産コーナーを設置し、たくさんの人で賑わいました。

7月12日には、第1回中心市街地活性化検討委員会が開催され、市の中心市街地活性化ビジョン策定に向けて意見を交わしました。この委員会は、中心市街地に賑わいを呼び戻すため、中心市街地の将来像を描き、その実現に向けて取り組むべき素案を作成することを目的としています。8月24日には第2回の委員会が開催され、市民の意見を取り入れる「アンケート調査票」等について意見を交わしました。

7月15日には、東京都板橋区ハッピーロード大山商店振興組合と全国ふる里ふれあいショップ「とれたて村」の参加契約書を交わしました。併せて参加記念イベントを7月15日から17日までの3日間開催し、北秋田市の特産物をPRしました。「とれたて村」は平成17年に開店し、アンテナショップとして全国の特産物を出品しています。現在、北海道から九州まで12市町村が参加しており、北秋田市が13番目の参加となります。

7月21日には、市の提案公募型特産品活性化推進事業の審査会が開催され、2事業所が採択になり新たな特産品開発に取り組んでおります。

東日本大震災の被災地を応援するために、東京都三鷹市の第三セクターである株式会社まちづくり三鷹が開設運営しているアンテナショップ「東日本応援ショップ」に7月30日から参加しております。

8月1日には、東日本大震災の被災地、釜石市災害対策本部へ夏の暑さを少しでも緩和できればと、珪藻土冷却アイテム試作品100個を寄贈しました。製品は、珪藻土の吸水性や保温性を利用し、マフラー状の生地に珪藻土を入れ水に浸すと冷却効果が出るものです。

観光振興関係については8月1日より来年の3月31日まで大館能代空港の利用を促進する為、市民へ空港利用時の助成金5,000円を支出し、搭乗率の向上を目指しております。又、大館能代空港利用促進協議会による1,000円レンタカー事業も去年から引き続き実施されております。

7月9日第20回米代川花火大会が開催され、大勢の見物客のもと、東日本大震災の被災地に元気を届ける思いで、色とりどりの連発花火や割物花火など光と音のショーを楽しみました。

7月17日第19回合川あじさいまつりが翠雲公園で開催され、市内外から訪れた家族連れが、見頃を迎えた色鮮やかな、あじさいと歌謡ショーやゲームなどのイベントを楽しみました。

7月30日、31日に森吉山ダム四季美湖誕生祭が広報館前をメイン会場に行われ、企画されたさまざまなイベントを楽しみ、地域の活性化に向けスタートを祝いました。

8月7日第25回森吉山麓たなばた火まつりが阿仁前田河川公園を会場に開催され、地域の活性化と伝統芸能継承のためのたくさんのイベントを大勢の見物客が楽しみました。

8月14日第40回合川まとび、第31回合川ふるさとまつりが合川橋付近と健康広場にて開催され、合川太鼓保存会による「呼太鼓・合川太鼓」、婦人会・中学生による「通り踊り」、仮装で踊る「タント節」、スペシャルステージなど夏の夜を楽しみました。

8月16日は伝統の第49回阿仁の花火大会と灯籠流しが阿仁河川公園で開催され、多くの見物客が迫力満点の打上花火や幻想的な風景を見せる灯籠の美しさを堪能しました。

8月27日第12回北秋田市長杯森吉山ローラースキー大会が阿仁地区の市道荒瀬川線をコースに行われ、小学生から高校生まで参加し、残暑厳しい中、ゴールめざしてタイムを競いました。

建設部

<都市計画課関係>

日本海沿岸東北自動車道（日沿道）の二ツ井白神～あきた北空港間については、8月25日開催の社会資本整備審議会道路分科会第3回東北地方小委員会において、住民アンケートの結果などを受けて、現道を活用した形で、平成20年代後半の完成を目指し、間もなく事業に着手することになりました。一日も早い完成を期待するものであります。

居住環境の質の向上や市内経済の活性化を図るための住宅リフォーム緊急支援事業については、8月15日現在で交付決定数 250件、交付決定額 36,003千円、対予算比 80%となっております。

老朽化等から平成23年1月1日に用途廃止した市営住宅大町団地については、7月末に解体・整地を終えております。

<建設課関係>

地域活性化交付金（きめ細かな）事業については、冬季間の交通確保のために除雪ドーザ8t級ほか5台を購入しております。道路・側溝・舗装等維持工事では高野尻線ほか4路線5件を発注し、伊勢町～堤防線ほか2路線3件、河川・浚渫等維持工事では大沢川が完成しております。

道路新設改良事業については、繰越事業の道路改良工事では大野台幹線 2 工区、災害防除工事では萱草地蔵岱線が完成しております。道路舗装工事では摩当～向黒沢線が完成し、道路改良工事では大野台幹線 3 件を発注しております。

災害復旧事業については、繰越事業の河川災害復旧工事では大舟木沢川ほか 3 河川 4 件、道路災害復旧工事では七日市～松沢線ほか 5 路線 6 件が完成しております。

6 月 23 日、24 日の梅雨前線豪雨災害については、河川災害復旧工事では馬屋沢川の災害査定が終了し、復旧工事に向けて準備を進めて参ります。

<上下水道課関係>

簡易水道事業については、桂瀬ポンプ場送水ポンプ取替工事、繰越事業の市道大野台幹線改良に伴う水道管移設工事、長野沢浄・配水場法面保護工事の 3 件が完成しております。また、阿仁川災害復旧助成事業に伴う水道管移設工事と、一般国道 7 号鷹巣大館道路工事に伴う水道施設移設実施設計業務委託の 2 件を発注しております。

公共下水道事業については、鷹巣処理区の工事説明会を、7 月 12 日、13 日の二日間、今年度の整備区域である胡桃館地区、佐戸岱地区の土地所有者を対象に開催し、工事期間中の協力と、供用開始の予定時期について周知を図っております。

工事の発注状況については、鷹巣処理区において、綴子字胡桃館地内の幹線工事 2 件と脇神字平崎上岱地内の面整備工事を発注しております。

農業集落排水事業については、木戸石地区の中継ポンプ制御盤移設工事が完成しております。また、前田地区の下水道管移設工事を発注しております。

浄化槽市町村整備推進事業（阿仁地区市町村設置型）については、7 人槽 1 基の工事が完成しております。

消 防 本 部

<常備消防関係>

本年上半期（1 月から 6 月）の管内の火災発生は、11 件（昨年同期比＝同）で、内訳は、建物火災 9 件、車両火災 1 件、その他火災 1 件となっております。建物火災では住家 5 棟が全焼し、火災による死傷者は 3 人となっております。

同期間の救急出場は 728 件（昨年同期比 59 件減）で、内訳は、急病 499 件（全体の 68.5%）、一般負傷 98 件、交通事故 52 件、転院搬送 49 件などとなっております。救助出場は 36 件で、内

訳は、交通事故 27 件、水難事故・その他事故が 9 件となっております。また、3 件の搜索出動がありました。

5 月から 7 月にかけて防火対象物 62 件、危険物施設 15 件の予防査察を行い、消防法に基づく是正指導等を行っております。また、6 月 5 日から 11 日までの危険物安全週間の活動として、市内 14 事業所 19 人が参加した危険物に関する知識の普及啓発のための研修会を開いております。

6 月 1 日から設置が義務化された住宅用火災警報器については、6 月を市消防本部の設置調査促進強化月間として、今年 6 月から 8 月までに、7,646 世帯（＝上小阿仁分署を含む）について夕刻の在宅時間（午後 5 時 30 分～7 時）の戸別訪問などによる調査を終えております。これまでの調査累計で、当市では 8,299 世帯（調査回答世帯の設置率 78.3%＝一部設置世帯を含む）の設置が確認されております。

5 月 20 日から 26 日までの県民防災意識高揚強調週間の訓練では、県立秋田北鷹高校と市内 3 高齢者施設で火災等の想定訓練を実施し、施設関係者と消防本部の連携した取り組みが行われております。また、北秋田市民病院では、7 月 16 日、大地震を想定した訓練に併せて、救急車と防災ヘリ「なまはげ」との患者搬送の引き継ぎやヘリ発着訓練などが行われております。

なお、本年は、消防救助技術を競う秋田県大会が中止となっておりますが、関係職員については、緊急事態に備えた能力の維持向上を目指して、ロープ渡過などの訓練が継続して展開されております。また、プール、河川、海洋を利用した潜水等の水難救助訓練も継続して行われておりますが、今年度からの新たな取り組みとして、ダム湖（＝森吉四季美湖）での訓練が行われております。

<非常備消防関係>

7 月 10 日、阿仁吉田地区（旧アーチェリー会場）で、団員 450 人が参加して市消防団消防訓練大会が開かれました。この大会は、消防団員の確実迅速な動作の習熟を目指して開かれているもので、各分団が、規律訓練の部・ポンプ車操法の部・小型ポンプ操法の部の 3 部門で、はつらつと競い合いました。また、会場では、婦人消防隊員による炊き出し訓練が行われ、災害時の協力した活動が再確認されております。

同会場では、7 月 24 日、大館市・上小阿仁村・当市の代表団員 529 人が参加して秋田県消防協会大館北秋田支部消防訓練大会が開かれました。迅速で統制のとれた消防活動を 3 部門で競い合い、規律訓練の部では森吉第 7 分団が優勝し、小型ポンプ操法の部では阿仁第 1 分団が優勝するなど、各分団の日頃の充実した訓練成果が披露され、消防活動についての一層の意識高揚が図られる機会となりました。

教育委員会

〈総務課関係〉

学校整備に係る主な工事の進捗状況につきましては、授業に影響が出ないよう夏休み期間中に工事を行い、阿仁中学校体育館解体工事から鷹巣小学校、鷹巣南中学校校舎屋根塗装工事、森吉中学校屋根改修工事、鷹巣南小学校は耐震補強工事をそれぞれ完成させました。

また、米内沢小学校新校舎建設の準備として、工事に係る支障樹木の伐採を済ませ、現在のプール解体から新プールの建設工事など、今年度予定工事を着々と進めているところです。

〈学校教育課関係〉

市内の小・中学校は、部活動の地区大会や全県大会、各種コンクール等に積極的に参加し、好成績を収めるなど活躍が光りました。

6月、全県交通安全子ども自転車大会が秋田市で開催され、鷹巣南小学校が連覇を達成しました。個人の部でも武田沙輝さん（6年）が優勝、堀部竜誠さん（6年）が2位など上位を独占しました。8月には東京都で全国大会が行われ、9位であった昨年の成績には及ばなかったものの、十分に練習の成果を発揮して健闘しました。

7月には全県少年少女陸上競技大会が行われ、5年女子100mで成田萌さん（綴子小5年）が1位、女子800mで藤田正由加さん（綴子小6年）が1位というすばらしい成績を収めました。第60回全県中学校総合体育大会においては、陸上競技男子共通800mで堀部亘世さん（鷹巣南中3年）が全国標準記録を突破して1位、1年女子1,500mで三上優香さん（鷹巣中1年）が1位、学校対抗で鷹巣中が女子総合で31年ぶり2度目の優勝を飾りました。8月に行われた東北大会においても、堀部さんは2位、三上さんは1位と大健闘でした。

一方、第53回大館北秋田児童生徒席書大会では、硬筆・半紙・条幅あわせて27点が入選を果たし、全県大会に選出されました。また、全日本吹奏楽コンクール県北地区大会では、鷹巣中、鷹巣南中、合川中の3校が金賞、森吉中、阿仁中の2校が銀賞を受賞しました。

8月には外国語指導助手（ALT）の辞令交付式が行われ、昨年度に引き続いて任用される3人のほか、新たに来日したマシュー・トーマス・ターナー、アマラ・ノエル・ボーモントの2人にも辞令が交付されました。市内の児童生徒と一緒に英語の活動や学習に取り組みます。

長い夏休みも終了し、8月26日から各学校において一斉に2学期がスタートしました。2学期も児童生徒の安心・安全に留意しながら、充実した学校生活を送ることができるように配慮しています。

<生涯学習課関係>

7月13日、北秋田市青少年問題協議会が「命をみつめて一大人と語ろう～男女交際とは何？」をテーマに秋田北鷹高校を会場に開催されました。北秋田警察署の佐藤有希子氏の基調講話をもとに、秋田北鷹高校生も含めて初めての試みとなるワークショップ形式での協議会となり、委員の方々からは今後も高校生の声を聞いて活動に生かしたいとの声がありました。

第2回目となるアマチュアバンドの祭典「音祭」が7月31日、文化会館で行われました。今回は、地元の社会人・高校生バンドを始め、市外からの参加もあり、12組のバンドグループが出演し、館内を盛り上げておりました。また、ロビーや屋外では出店があり、訪れた方々は、お祭りムードを楽しんでおりました。

8月15日、北秋田市成人式が文化会館で行われました。男子195人、女子161人の356人の新成人の記念式典は、新成人代表あいさつを畠山詩歩さん、また、ダックスムーンの記念公演、記念撮影等があり、新成人たちは成人としての自覚に満ちた表情をしていました。

8月21日、第6回北秋田市民俗芸能大会が文化会館で開催されました。市内5団体の郷土芸能のほかに、今年は仙北市の「紙風船太鼓・手踊り」にゲスト出演していただき、関係者の交流を図るとともに、会場を訪れた方々は郷土色豊かな芸能に魅了されていました。

<スポーツ振興課関係>

体育指導委員主催によるサマースポーツ教室が7月中に市内4地区5会場で開催され、ミニテニス、バランスボール、8人制バレーボール、軽スポーツのそれぞれの種目に延べ100人が参加して、それぞれ楽しく汗を流しました。

7月27日、28日、森吉総合スポーツセンターで開催された森吉地区第46回家庭婦人バレーボール大会に5チーム、第12回8人制バレーボール大会に3チームが参加し、熱戦を繰り広げました。東日本大震災の影響による体育施設の節電については、利用者の協力を得ながら、効果的な施設利用環境づくりに努めています。